

令和2年12月2日

公益社団法人広島県バス協会会長様

広島県警察本部長



年末に向けた交通死亡事故抑止対策の強化について（依頼）

初冬の候、貴台におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察行政各般にわたりまして、格別な御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年の当県における交通事故死者数につきましては、10月末時点で、54人（前年同期比マイナス2人）でしたが、11月に9件の交通死亡事故が発生するなど、第10次広島県交通安全計画で掲げている年間の交通事故死者数75人以下の目標達成に向けて、極めて重要な最終局面を迎えております。

また、年末にかけて、薄暮時間帯及び夜間における交通事故や飲酒運転による交通事故等の増加が懸念されることから、県警察といたしましては「薄暮時間帯」、「歩行者」、「高齢者」及び「自転車」に係る各種対策を強化しているところであります。

しかしながら、11月末時点の交通事故死者数（63人）のうち、

○ 自転車乗用中9人（前年同期比プラス5人）

と、全体の死者数が減少する中、増加に転じているほか、

○ 二輪車乗用中13人（前年同期比マイナス1人）

○ 歩行中死者数26人（前年同期比マイナス4人）

と例年同様、高原状態で推移しております。

このような中、県警察といたしましては、年末に向けて更なる交通死亡事故抑止対策を図るため、12月10日まで実施される、「令和2年年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」を中心に、交通全体の速度抑制、歩行者に対する保護意識の醸成、高齢者の交通事故防止、早めのライト点灯や上向きライト（ハイビーム）の活用及び歩行時のライト等の活用や横断時のルール遵守等に関して広報啓発を強力に推進するとともに、速度違反、横断歩行者等妨害、及び飲酒運転等に対する交通指導取締りを強化することとしております。

つきましては、貴台におかれましても、加盟事業者に対し、

○ 飲酒運転の禁止や安全速度の厳守等基本的な交通法規の遵守

○ 横断歩道等における歩行者保護

○ 交差点における確実な減速、停止及び安全確認の徹底

○ 早めのライト点灯と上向きライト（ハイビーム）の活用

等について、改めて御指導をいただきますよう御協力をお願い申し上げます。

【担当者】

交通部交通企画課安全第一係

吉田、伊藤

電話(082)228-0110（内線5031, 5032）



令和2年12月

交通企画課だより No. 12

11月末の交通死亡事故発生状況
～資料を活用して事故をなくしましょう～



広島県警
反射材活用促進キャラクター
「キラリ☆マン」

11月末全死者数	63人
高齢死者数	32人
高齢者の構成率	50.8%

広島県警察本部
交通部交通企画課

交通死亡事故発生状況について(令和2年11月末現在)

1 全国・中国地方の死者数

※ 数値は速報値である。

区 分	本年	前年	前年対比	
			増減数	増減率
全 国	2,541人	2,859人	△ 318人	△ 11.1%
計	189人	225人	△ 36人	△ 16.0%
中国地方				
広島	63人	64人	△ 1人	△ 1.6%
鳥取	16人	30人	△ 14人	△ 46.7%
島根	17人	22人	△ 5人	△ 22.7%
岡山	56人	70人	△ 14人	△ 20.0%
山口	37人	39人	△ 2人	△ 5.1%

注) △は減少を、無印は増加を表す(以下同じ)。

【広島県の全国的位置づけ】

死者数63人～全国で死者数が多い順から13位

1位:愛知 141人, 最少:鳥取 16人

増減数1人減～全国で減少数が多い順から32位

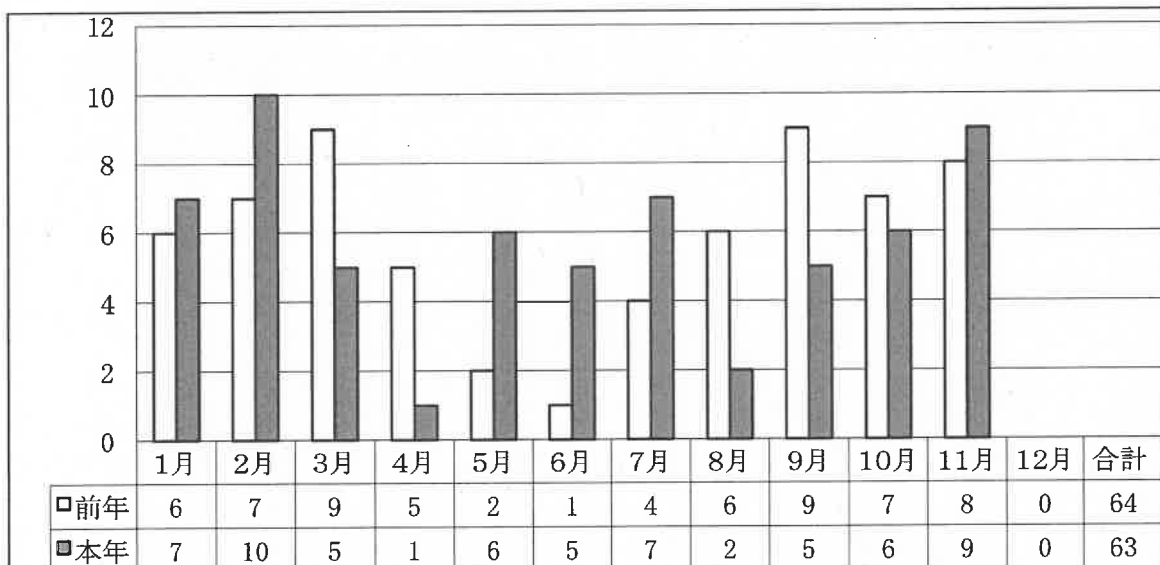
1位:岐阜 38人減, ワースト:静岡 16人増

増減率1.6%減～全国で減少率が高い順から35位

1位:岐阜 50.7%減, ワースト:石川 52.0%増

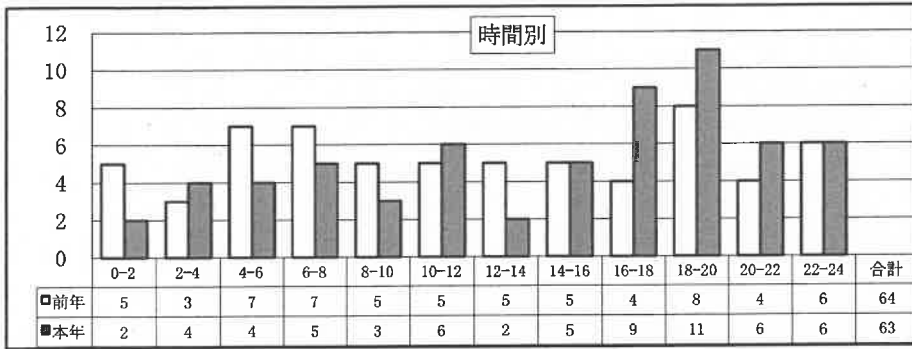
2 月別死者数の推移

※ 以下は広島県の状況

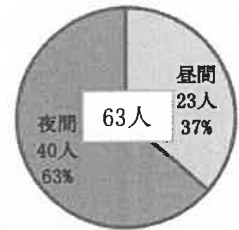


交通事故死者数

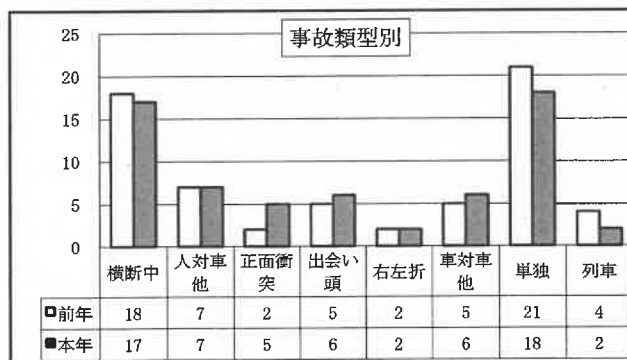
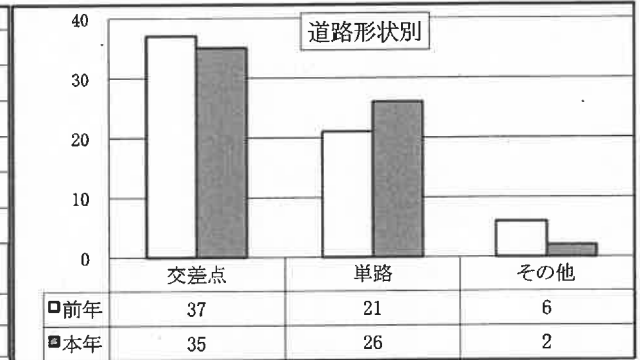
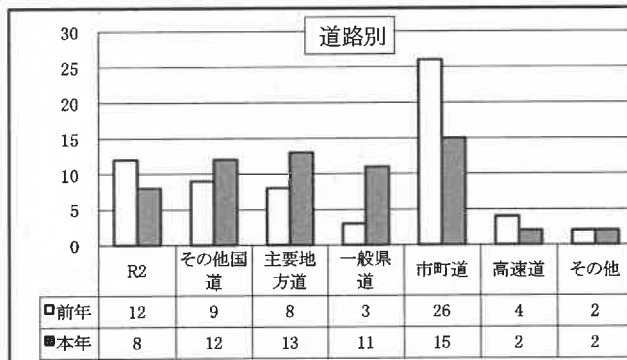
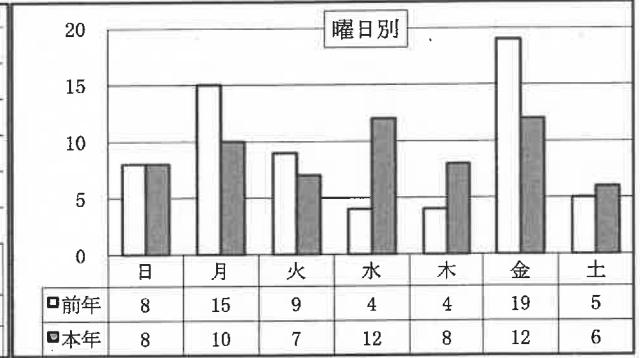
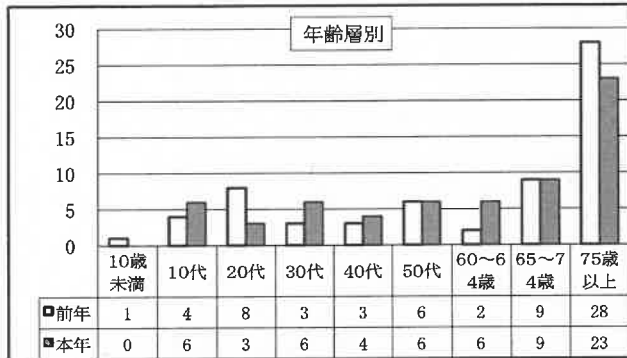
令和2年11月末現在



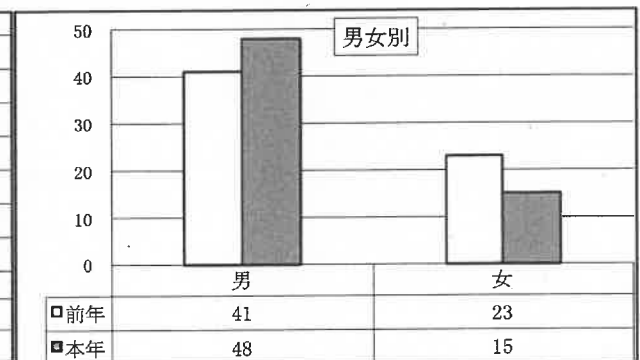
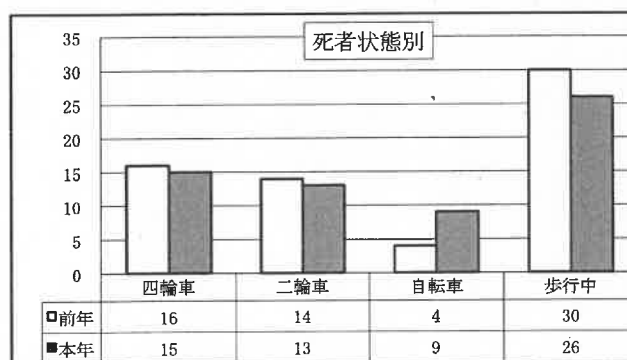
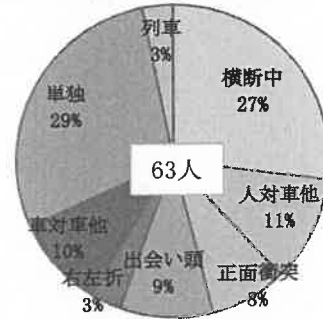
昼夜別(令和2年中)



※昼間とは日の出から日没までを、夜間とは日没から日の出までをいう。

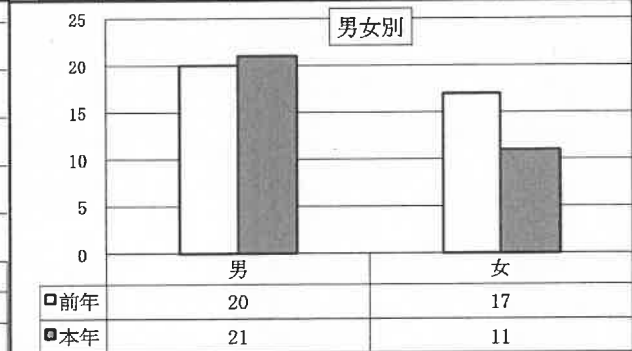
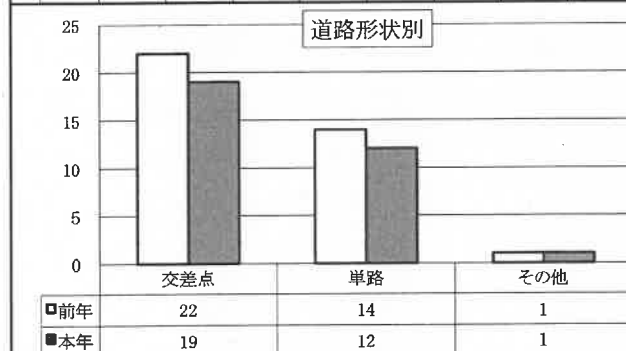
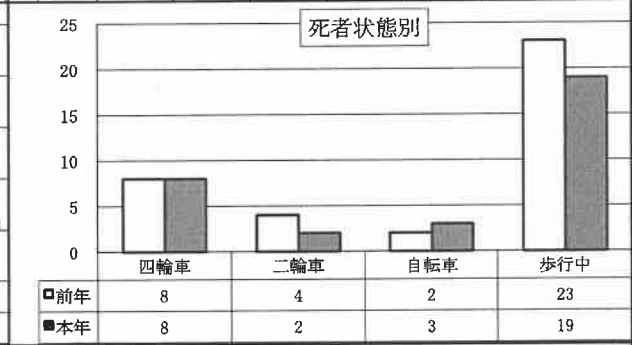
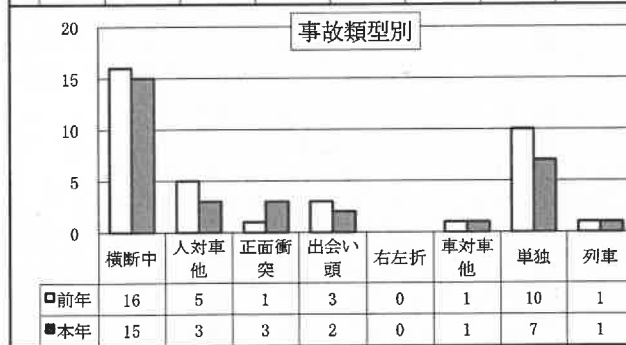
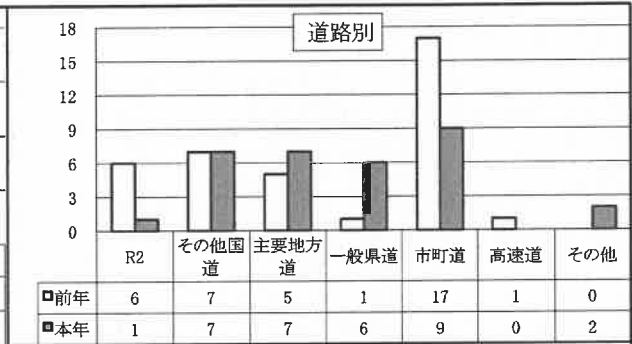
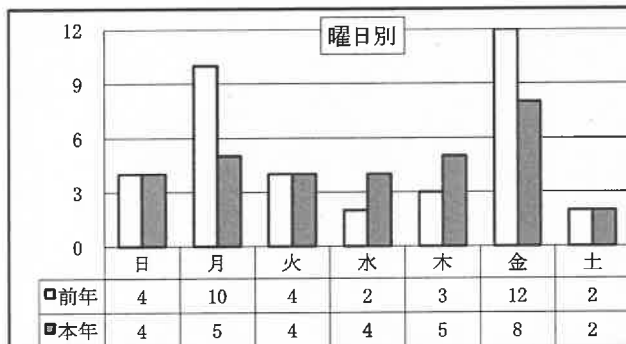
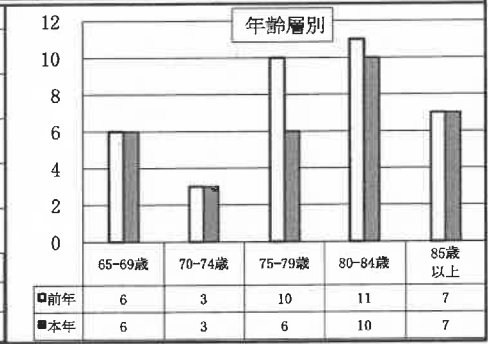
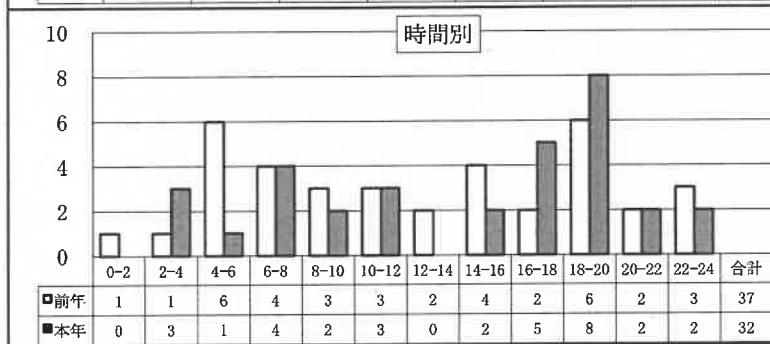
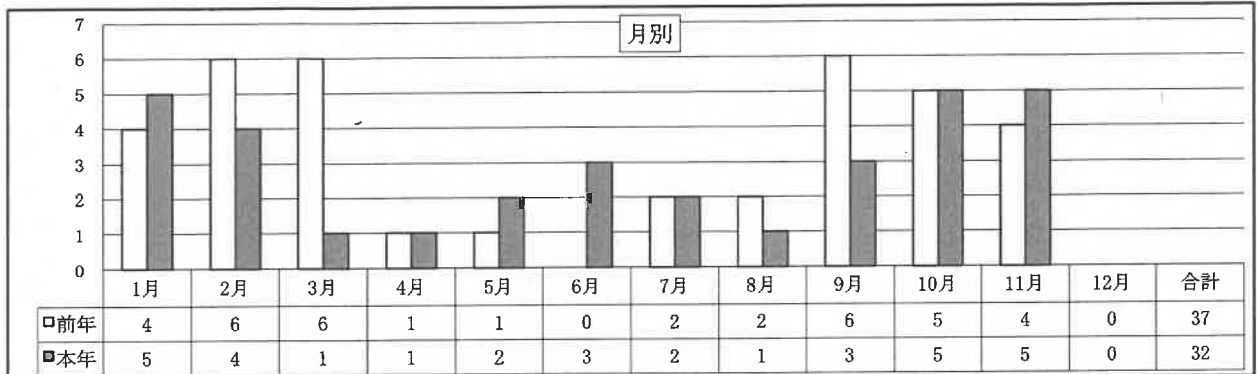


事故類型別(令和2年中)



高齢者の交通事故死者数

令和2年11月末現在



1 1月末現在の交通死亡事故の特徴

- 63人死亡で前年同期比1人減少
- 時間帯別では、16～20時の発生が特に多く、前年同期比8人増加
- 昼夜別では、夜間の発生が全体の約6割を占める
- 事故類型別では、人对車両が多く、特に横断中が多い
- 死者状態別では、歩行中が26人と最も多く、そのうち19人が高齢者
- 年齢層別では、75歳以上が23人と多い

歩行者事故ゼロを目指して！

～交通事故の加害者・被害者にならないために～

12月は、歩行中の交通事故死者数、重傷者数が年間で最も多い月です。何かと気忙しい時期ですが、より一層注意が必要となります。

～12月における歩行者の重大事故の特徴～

△ 16時～20時が約4割

- 🚗 早めにライトを点灯させ、車の存在を知らせましょう。
- 🚶 明るい服装を着用し、ライトや反射材を活用しましょう。



△ 道路横断中が約7割

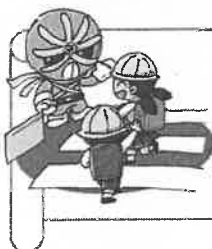
- 🚗 速度を控え、横断歩道では歩行者を優先しましょう。
- 🚶 道路横断時もしっかり左右の安全を確認しましょう。



△ 高齢歩行者が約6割

- 🚶 注意力、歩行速度の低下など身体機能の低下を自覚しましょう。
- 🚶 斜め横断や走行車両の直前直後の横断はやめましょう。

「みんなで 歩行者事故ゼロ プロジェクト」推進中



年末にかけて死亡事故が増加します。
一人ひとりの心がけで事故を防ぎましょう！